

平成28年度 旅客船コースの実施について

海上災害防止センターでは、最近のフェリー火災事故に鑑み、フェリー・旅客船等の乗組員等の消防能力の向上を図ることを目的として、平成28年度における旅客船コースを現在までの毎年度1回から下記のとおり増設することを計画しています。

1 訓練実施日

実施回	実施期間
旅客船コース①	平成28年 5月11日(水)～5月13日(金)
旅客船コース②	平成28年 6月21日(火)～6月23日(木)
旅客船コース③	平成28年 9月19日(月)～9月21日(水)
旅客船コース④	平成28年10月12日(水)～10月14日(金)
旅客船コース⑤	平成28年11月14日(月)～11月16日(水)
旅客船コース⑥	平成28年12月20日(火)～12月22日(木)
旅客船コース⑦	平成29年 1月15日(日)～1月17日(火)
旅客船コース⑧	平成29年 2月19日(日)～2月21日(火)
旅客船コース⑨	平成29年 3月13日(月)～3月15日(水)

2 訓練対象者及び受講予定人数

フェリー・旅客船の乗組員など30人/回(最低携行人数12人)

3 受講料等

受講料 87,943円(昼食費込み)
施設利用料 7,200円(研修所に宿泊の場合)
合計 95,143円(税込)

4 訓練概要(3日(座学1日、消防実習2日))

【1日目】

08:40～09:00 日程等説明

09:00～17:00 講習

火災の概念、船内外消火法、災害時の救助法、
保護具の使用法

【2日目】

08:40～17:00 火災消防実習

- ① 持ち運び式消火器(粉末・泡)の取扱い実習
- ② ホース・ハンドリング・コマンド実習
消火ホースの持ち方、消火隊員の動き方、
消火作業を実施する際の号令等を習得する。
- ③ 消火作業の基本



① 持運式消火器取扱実習



② ホース・ハンドリング
・コマンド実習

消火ノズルの操作方法、消火隊員の動きについて、溜まる・流れる実火を使用して体験する。

④ 甲板火災消防実習

甲板上で発生する火災に対する基本的な攻撃・防御の消火方法を習得する。

⑤ 機関室火災消防実習

船舶の機関室内で発生する漏油等による油火災に対処するための消火方法を習得する。



④甲板火災消防実習



⑤機関室火災消防実習

【3日目】

08:40～17:00 火災消防実習

① 保護具・検知器取扱い実習

自蔵式空気呼吸器、可燃性ガス検知器、酸素濃度測定器、有害ガス検知器の基礎知識、取扱いを習得する。

② 船室火災（自蔵式空気呼吸器装着）消防実習

酸素濃度が制限された区域（船室等）での水の使用を最小限にした特殊な消火方法を習得する。



②船室火災消防実習

③ スモークルーム

（自蔵式空気呼吸器装着）

乗客の避難・誘導、行方不明者の捜索救助を視野に入れた視界制限状態における動き方及び救助者の限界を体験する。

④ ホース・ハンドリング（横横巻き）

狭所における消火ホースの展張方法を習得する。



④横横巻き展張実習

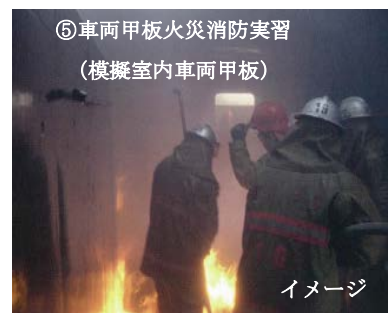
⑤ 車両甲板火災消防実習

冷凍機付車両火災及び同付近からの漏油による車両下部火災に対して、各種消火ノズル及び粉末消火器を使用した消火方法を習得する。

※ 本実習では、屋外での基本訓練を実施した後、模擬屋内車両甲板を使用した応用訓練（屋内を密閉し、自蔵式空気呼吸器を装着しての消防実習）へとステップアップをさせる予定（イメージ写真）



⑤車両甲板火災消防実習
（屋外基本訓練）



⑤車両甲板火災消防実習
（模擬室内車両甲板）

イメージ